



# ぽっぽ屋



## 輸送サービス労組 東京支部

### 2023.2.22 No. 059

# 東北新幹線 東京駅にてスロープ板を設置したまま起動開始！

## 現場社員が一体となって安全で安心な東京駅新幹線ホームを実現させよう！！ NO.1

なぜスロープ板がついたまま  
新幹線は動いたのか？

どうして誰も  
停止手配を  
とれなかったのか？

1月31日13時20分頃、はやぶさ25号(3025B)が東京駅発車の際、車椅子の乗降に使うスロープ板をつけたまま走行する事象が発生してからまもなく3週間が経過します。会社は乗客・関係社員に負傷者がいなかったことも含め、場当たりの対策のみで終わらせようとしています。しかし、今回の事故は関係職場及び関係者に意見を聞いたところ複合的な要因が背後にあり、誰にも起こりうる事象です。私たち輸送サービス労組東京支部は「安全・安心な職場」と「輸送・サービスの社会的役割」を果たすため、分会と共に職場環境改善と再発事故防止のため原因究明に取り組んでいきます。

次号は当日の状況や  
各職場からの声を記載します

### 新幹線到着から事故発生までの時系列

**13:10**

3016B(折返3025B)6分延で東京駅到着

**13:12**

立番社員は事務室にいる遺失担当社員より3号車に車いす(乗車)対応がある旨を引き継ぐ

**13:18**

移動禁止解除を確認、ドア開け放送及びドア開扉

**13:20**

立番社員・レピーター点灯、発車時刻と神田方の立番からの乗降終了及び品川方の乗降を目視にて確認。閉扉合図を車掌に送る。車いすの案内を一時的に失念。

TESSE1社員・3号車NO.2ドアにスロープ板が装着のまま新幹線が動き出したので咄嗟に足でスロープ板を撤去。

S-CSP社員(車いす担当)・車内までご案内後ホームに戻ろうとした際、他の旅客が複数乗車したため降車することができずドアが閉扉